



スズキ スイフト

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6264/6265/6266

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



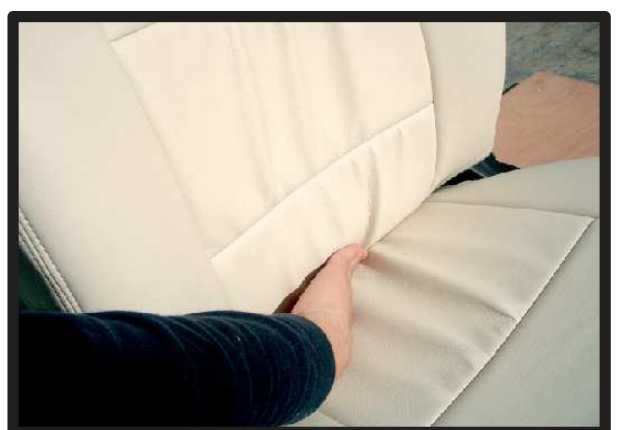
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

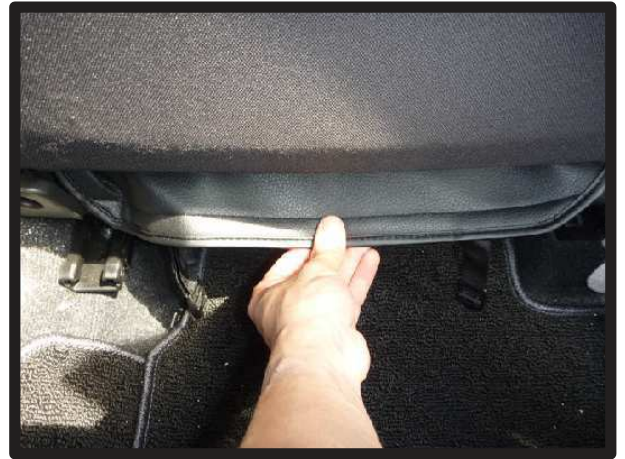
コンビニフックについて

- ・一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。
フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。
- ※フックがツメのみで固定されている場合、フック取り外しの際に破損させてしまう恐れがあります。また、フック取り付け部とシートとの隙間が狭すぎる場合、カバーの生地が挟み込めず、加工には適さない場合があります。

1 列目座面



①カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー外側に付いているプラスチックを、シートと図のプラスチック部の隙間に入れ込みます



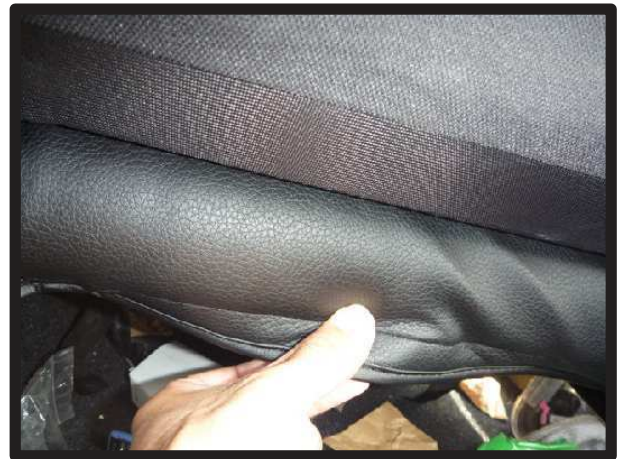
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



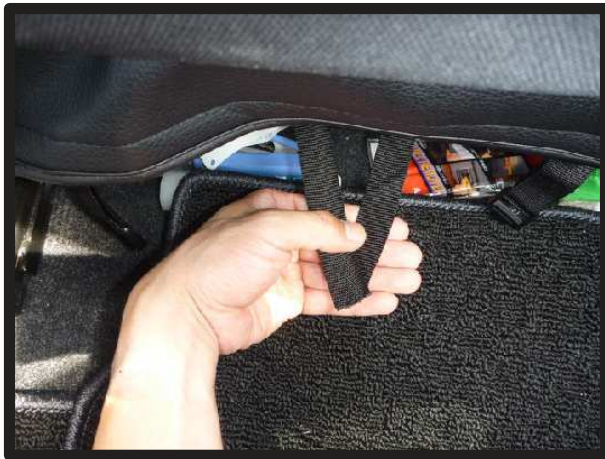
⑥カバー内側にはマジックテープが生地の裏に付いています。マジックテープはシートに直接貼り付けて固定します。カバー側面下の生地は、シート側面下に入れ込みます。



⑦カバー前方のベルトをスライドレバーの上を通してシート背面へ入れ込みます。



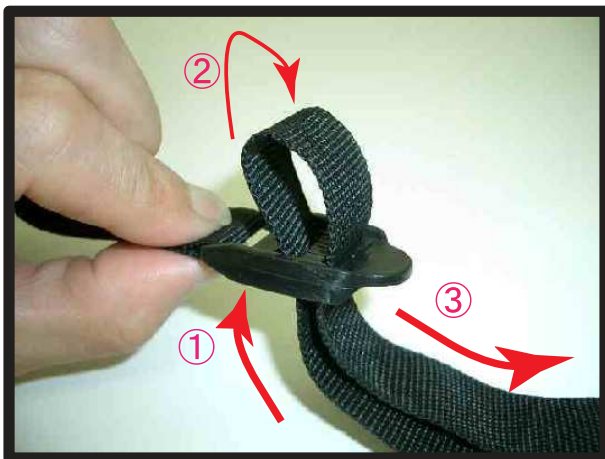
⑩1ページ④で引き出した生地についているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



⑧シートの背面からベルトを取り出します。ベルトは1ページ④で引き出した生地についているバックルを通して固定します。



⑪カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑨ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

1列目背もたれ

※運転席側アームレスト装備車は5ページ6ページをご覧ください



①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、シート肩口の生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



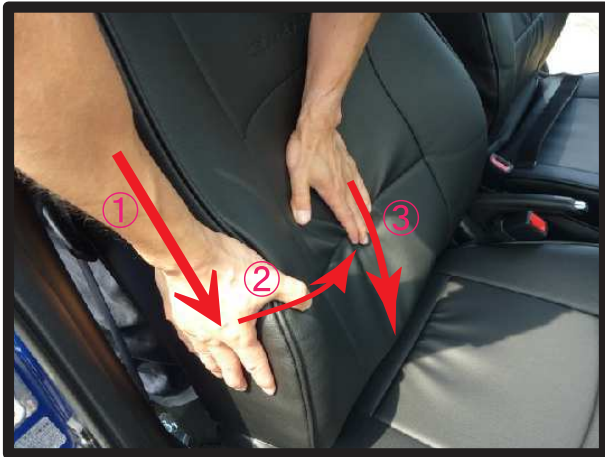
⑤ヘッドレストの台座を取り出します。始めに台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑦図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から3ページ④の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



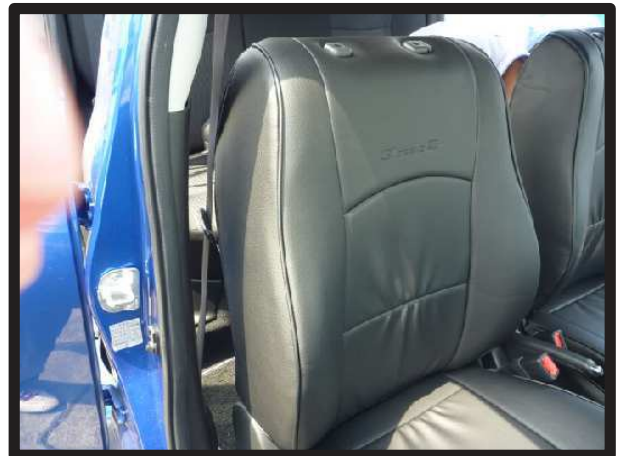
⑧カバー背面下と④で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑨カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑩シート前方から見たシート裏です。S字フックは図の金属部分に開いている、丸い穴に引っ掛けて固定します。



⑪カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様にに取り付けます。



※画像は取り付けの良くない例です。カバー側面に図のようなシワが残っている場合は、生地がシートに馴染んでいません。⑦の作業を繰り返し行なうことで改善されます。

1列目背もたれ（アームレスト装備車）

※運転席側はアームレストは外さずにカバーの取り付けを行います

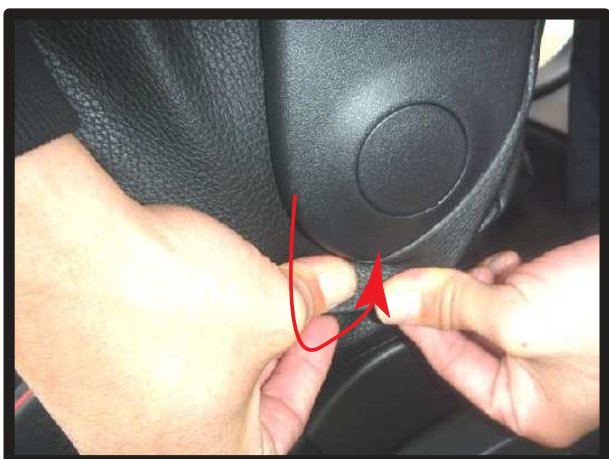


①カバーを半分程裏返して、シートにかぶせながら、アームレストをカバーの加工穴に通します。

※アームレストは専用の工具があれば取り外してカバーの取り付けを行うことも可能です。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



②アームレストの軸部分は生地伸びを利用して、慎重にかバーをかぶせて下さい。



⑤ヘッドレストの台座を取り出します。始めに台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑦図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から3ページ④の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑧カバー外側面のファスナーを生地を内へ寄せながら、慎重に閉じます。



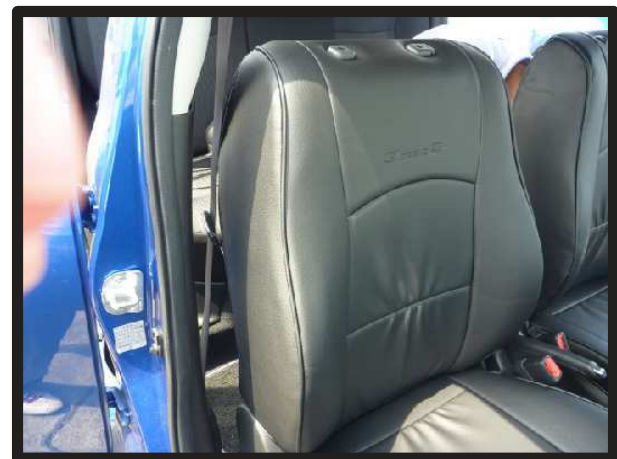
⑨カバー背面下と3ページ④で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑪シート前方から見たシート裏です。S字フックは図の金属部分に開いている、丸い穴に引っ掛けて固定します。



⑫カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面



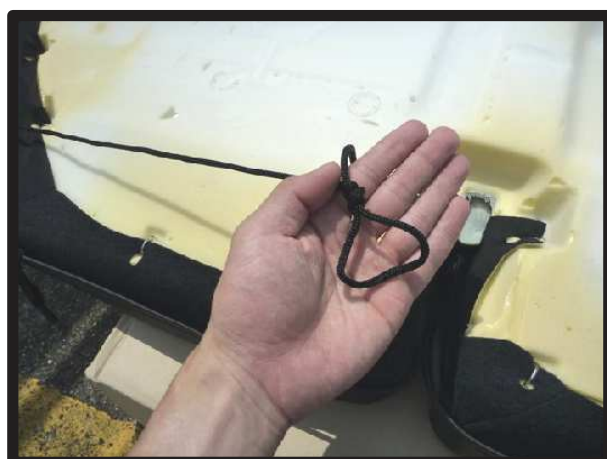
① 2列目座面はシートを車体から取り外してから、カバーの取り付けを行います。シートを図のように持ち上げると矢印部分のシート裏にあるフックが外れて、シートが取り外せます。フックを外すのにある程度の力が必要になります。作業は慎重に行ってください。



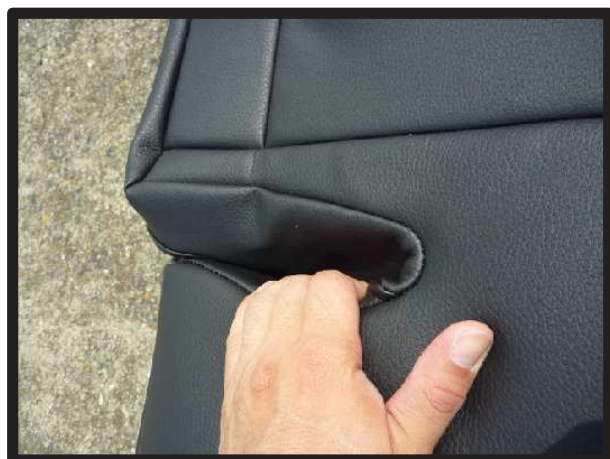
④ シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



② 取り外したシートを作業の行いやすい場所に置きます。カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



⑤ カバー側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



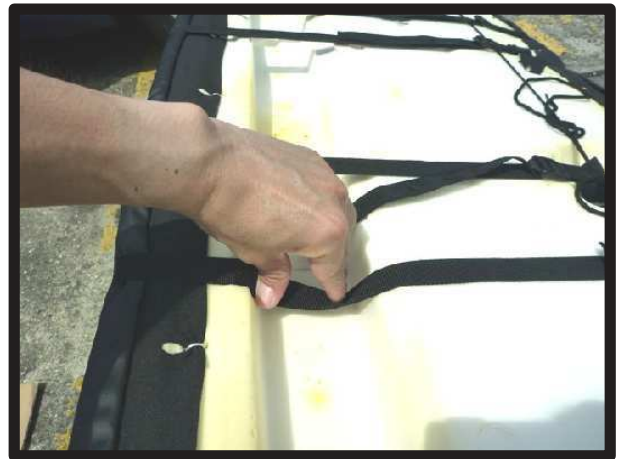
③ シートベルトが収まる部分に生地を入れ込みます。



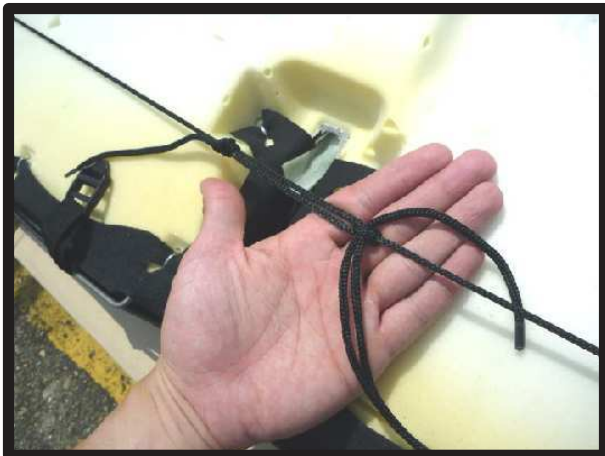
⑥ もう片側のヒモを作った輪に通して引きます。ヒモを引くことでカバーの下回りが絞り込まれます。



⑦ヒモを絞り込む際に、ヒモを巻いている生地がシートの内側へ入るように、図のように指で引っ張ります。



⑩ベルトは強く引いてしまうとシートが車体に戻らなくなります。図のシート裏の凹み部分にベルトを指で押し付けて、少し突っ張るぐらいにベルトは調整して下さい。



⑧カバーの下回りを絞り込めたらヒモを結び留めます。

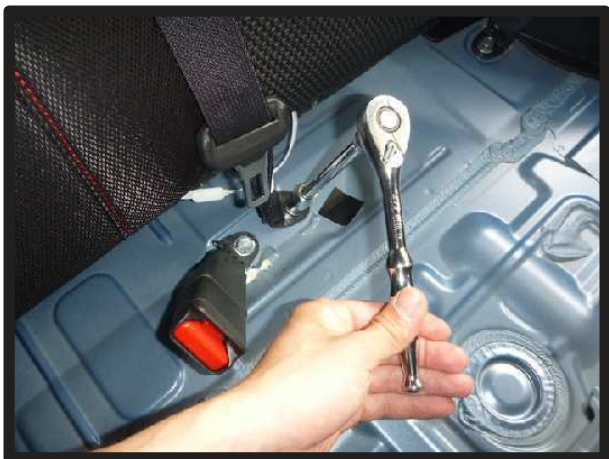


⑪カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは背もたれカバーを取り付けた後に戻した方が、背もたれカバーが取り付けやすくなります。



⑨シート裏にあるベルトを前後で6本固定します。

2列目背もたれ



① 2列目背もたれの助手席側です。中央のシートベルトをソケットレンチなどを使用して外します。



④ カバーを裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。
※図はシート中央から出ているシートベルトが無い、一部改良前のものになります。



② カバーの加工穴から①で外したシートベルトを取り出します。



⑤ シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



③ シートベルトが出ている土台部分にヘラなどを利用して生地を入れ込みます。



⑥ ヘッドレストの台座を取り出します。



⑦カバー側面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を矢印の方向へ寄せながら、慎重に閉じて下さい。



⑩図の形状のリクライニングレバーの付いた車です。加工穴からレバーを取り出して、プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



⑧肩口のリクライニングレバーをカバーの加工穴から取り出します。生地の手元をリクライニングレバーのプラスチック部のフチに入れ込みます。



⑪リクライニングレバー部分は図のように収まります。



⑨肩口のリクライニングレバー部分は図のように収まります。



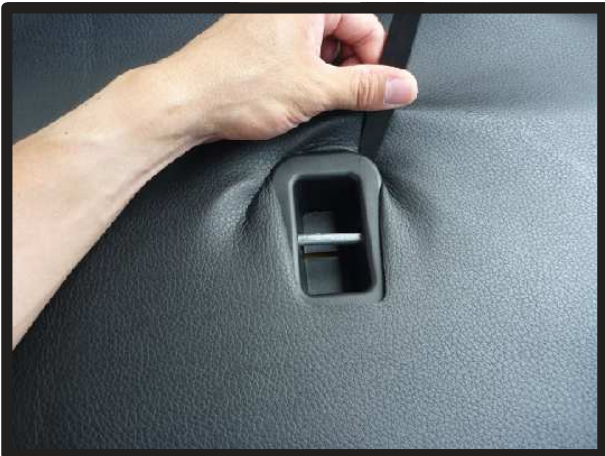
⑫シートを固定する部分もプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



⑬シートを固定する部分は図のように収まります。



⑭カバー正面下の生地を背面へ入れ込みます。



⑮シート背面のチャイルドシートを固定するバーの部分も、プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



⑯入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
ラゲッジボードを外すと生地を容易に引き出せます。



⑰チャイルドシートを固定する部分は図のように収まります。



⑱引き出した生地とカバー背面下をマジックテープで固定します。

1 列目ヘッドレスト



⑱シート正面下にあるチャイルドシート固定用バーを、カバーの加工穴から取り出します。



①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせて、ヘッドレストの先端まで、しっかりとカバーをかぶせます。



⑳2列目背もたれ背面は、図のようになります。



②ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



㉑カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
運転席側は一部形状は異なりますが同様に取り付けます。
※図は一部改良前のものを使用しています。



③ヘッドレストをシートから外しますヘッドレスト裏でプラスチックのフックで固定します。

2列目ヘッドレスト



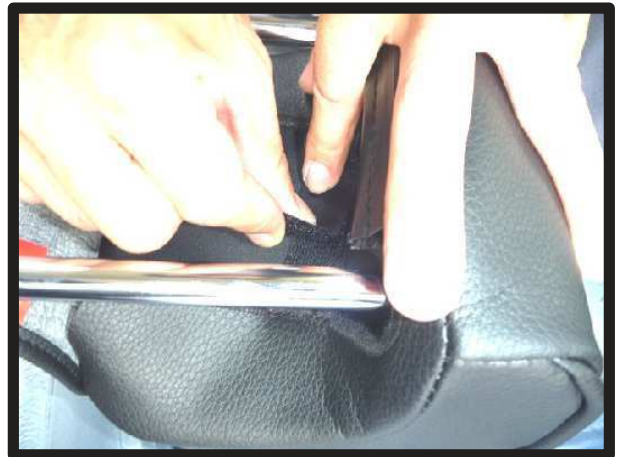
④プラスチックフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



①2列目ヘッドレストは先端部分から矢印方向へとかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように収まります。



②ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。1列目と同様にプラスチックのフックでカバーを固定します。



⑥ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートに戻してカバーのラインを整えます。2列目ヘッドレストの完成です。※図は一部改良前のものです。2列目中央ヘッドレストも同様に取り付けます。

アームレスト

※アームレスト装備車のみ



①カバーのファスナーを開いた状態でアームレスト先端までしっかりとかぶせます。



②ファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



③アームレストのラインを整えて、アームレストの完成です。

完成図



1列目



2列目
※一部改良前



1列目背面



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



Elazzio

SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN
INTERNATIONAL

株式会社 イレブンインターナショナル

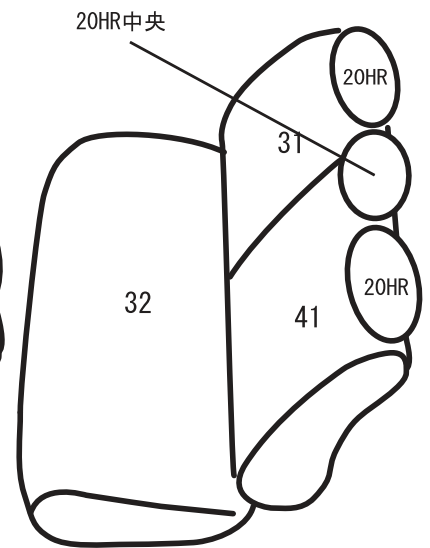
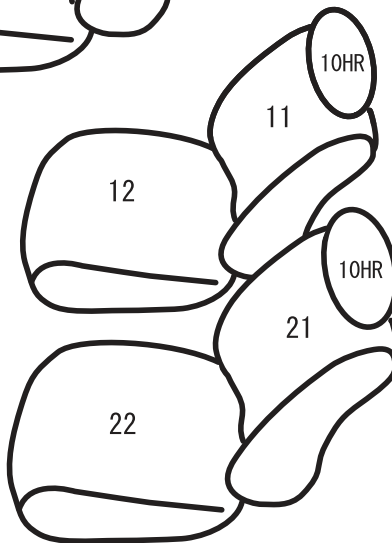
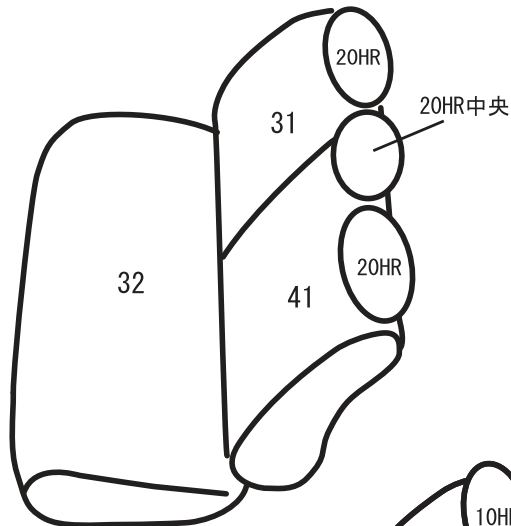
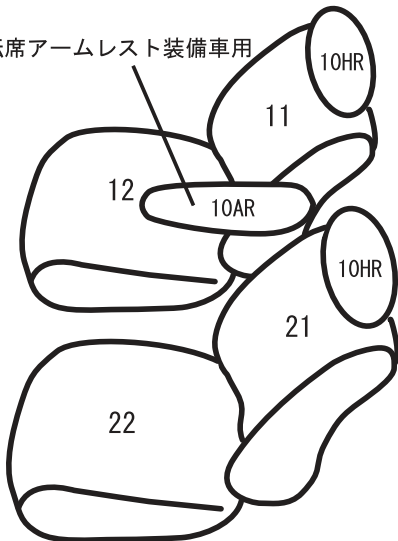
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

本製品シート形状とパーツの名称

※運転席アームレスト装備車用



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② ヘラ